じんせい
吉岡　隆興　細木病院副院長・こころのセンター長
SOCIAL MEDICAL CORPORATION JINSEIKAI　社会医療法人仁生会細木病院グループ情報誌
2019（令和元）年
10
No.394

細木病院

第19回日本内分泌学会四国支部学術集会 西岡達矢副院長が会長を務め開催

◆「内分泌」という言葉を聞いたことはあるでしょうか？

内分泌とは、下垂体、甲状腺・副甲状腺、副腎、膵臓といったホルモンを産生する臓器（内分泌臓器）のシステムを指し、これら臓器の病気は内分泌疾患と称されます。その発症頻度は多くはないものの、糖尿病、高血圧、脂質異常症、骨粗鬆症など生活習慣病や、それに関連する疾患を引き起こす黒幕的疾患になる場合も多く、また診断に難渋することも多い疾患です。

細木病院には、これら疾患の診療を専門とする医師が多く在籍し、さらに、日本内分泌学会認定教育施設、日本甲状腺学会認定専門医施設、日本糖尿病学会認定教育施設として質の高い内分泌、糖尿病診療に努めています。糖尿病療養指導では、薬剤師、看護師、臨床検査技師、管理栄養士、理学療法士も大変積極的に取り組んでおり、糖尿病療養指導士も21名在籍しています。糖尿病学会や研究会などでの発表も活発に行っており、認定施設としても一定の評価を得ています。

◆学術集会で最新の治療の動向について活発に討議！

9月14日、当院副院長西岡を会長として、高知市の高知会館において、第19回日本内分泌学会四国支部学術集会が開催されました。日本内分泌学会は、内科領域主要学会の1つであり、四国支部学術集会は、4県持ち回りで毎年開催されています。本会には、四国中の内分泌専門医、糖尿病専門医を中心として多くの医師が参集し、さまざまな症例の病態、治療などについて議論したり、最近の研究の進歩を報告する貴重な機会となっており、若手研修医の発表の場ともなっています。

当日は、一般演題として23題の発表があり、演者と参加の先生方との活発な討議が行われました。当院からも、内科副部長の丸山博先生が糖尿病に関する発表を、内科長の品原正幸先生は甲状腺疾患に関する発表を行い、質疑応答がなされました。また、企画した特別講演、ランチョンセミナー、教育講演、女性医師セミナーでは、内分泌・代謝疾患の最近の話題として、それぞれ大阪市立大学の今西康雄准教授から「原発性副甲状腺機能亢進症における内科的治療」、徳島大学の松久宗英教授から「低血糖の病態生理とその対策」、県立広島病院脳外科部長の富永篤先生から「先端巨大症の診断・治療（外科治療と後療法）」、東京の伊藤病院内科医長の吉原愛先生から「妊娠と甲状腺疾患」というタイトルでご講演いただき好評を博しました。

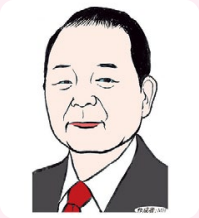
今回、学会の準備は約1年半前よりスタートし、細木秀美理事長、堀見忠司院長のご理解のもと、秘書室の福原紀宝係長の協力（強力）を得て推し進めることができました。当日は、福原係長や丸山先生、品原先生のほか、総合診療科副部長の熊谷千鶴先生、内科副科長の篠原雅幸先生、初期臨床研修医の藤吉祐樹先生、中尾朋未先生にも受付等の運営係を担当してもらい、円滑に進行できました。この場をお借りして感謝申し上げます。また、経済環境の厳しい中、多くの企業のご支援をいただき、充実した会を開催することができました。重ねてお礼申し上げます。

最後に、これを機に気持ちを新たにして、医師、スタッフが一丸となって引き続き内分泌・糖尿病診療に邁進したいと思います。

（副院長／糖尿病・内分泌内科部長　西岡達矢）

時事エッセー

高知県・百歳以上が日本一



仁生会理事長
細木 秀美

今年9月の統計で、時事通信社の発表では、100歳以上の方が日本中に71,238人と、とうとう7万人を超えた。昭和60年代には、全国の100歳以上の方は300人を下回っていたので、物凄い増加である。しかも、都道府県別では、人口10万人当たりの100歳以上の方が多い県の第1位が、101.4人と、何とわが愛する高知県であった。2位は鹿児島県、3位は島根県だった。反対に、100歳以上の方が少ない県は、埼玉県の34人、愛知県の37人、千葉県の40人だそうだ。日本でも、南に位置する地方は長寿と言えるかもしれない。これは、人口減少が著しい高知県への移住を考える方々には朗報だし、高知県としても勧誘しやすくなりそうだ。日本一の長寿の方は、女性が福岡市の方で116歳、男性は新潟県上越市の112歳だそうだ。

しかし、反して、出生数を見てみると、2018年には、全国では今までで最低で、年間91万人しか赤ちゃんが誕生していない。高知県は、わずか4,498人しか生まれていない。近い将来、日本も、壊滅的な若者の減少を来す恐れがあるが、高知県は、昭和60年ごろは年間2万人以上の赤ちゃんが生まれていたので、4分の1以下になってしまった。高知県が元気になるには、若者の人口が増えなければ、お先真っ暗だ。河合雅司さんの「未来の地図帳」によれば、2045年、今から25年後には、高知県の人口は50万人を切るそうだ。しかもその大半は、高知市への一極集中になる。彼は、日本の省庁の統計を駆使した根拠のある計算上の現実を突きつけているのだ。

どうすれば、将来、元気な高知県でいられるのかなあ。今年の知事選挙が、行方を左右する気がするし、新しい知事の舵取りと力が試されることになる。

※このエッセーを書いた数日後、100歳以上の方が多い県の第1位は島根県で、高知県は第2位に修正された。

細木病院

心臓リハビリテーション セミナー開催

8月28日、29日の両日に、細木病院新館地下高行記念講堂において、「YOSAKOI心リハセミナー」と題して、心臓リハビリテーション（心リハ）の講演会と心リハ機器を用いたデモンストレーションが開催され、延べ100名以上の職員の参加がありました。講演会では、八王子みなみ野心臓リハビリテーションクリニック理事長の幡芳樹先生監修のもと、院長の二階堂暁先生と、理学療法士の林大二郎先生から、心リハ専門クリニックでの取り組みや医師、理学療法士の実際の役割と意義についてお話していただきました。デモでは、実際にレッドコードという大変ユニークな道具を使っての運動療法を紹介していただきました。

林理学療法士の講演

二階堂院長の講座

心リハと聞いて何を連想しますか？ 運動療法をイメージする方が多いのではないでしょうか。心リハとは、心臓の回復状態に合わせて、退院、自宅療養、社会復帰、次の心臓病を起こさないよう（再発予防）サポートすることが目的です。多くの方が連想する運動療法も心リハの一部ですが、禁煙指導や減塩指導、体重管理等の日常生活での指導、薬剤管理、臨床心理士による心理サポート等も含んでいます。心リハとは、多職種による多方面から包括的に患者さんの心臓病の再発予防をしていくツールです。

細木病院は、急性期から慢性期、在宅まで、境目のない医療の実現を目指しています。その中で、心リハは、これから当院が担わなければいけない分野であると、職員一同再認識することができました。大変有意義なセミナーをありがとうございました。

（ハートセンター長 細木信吾）

細木病院

「第4回学術集会in細木」開催

最優秀演題に選ばれた
医療技術部臨床心理室
池田貴美公認心理師の発表

9月10日、「第4回学術集会in細木」が、新館地下高行記念講堂において開催されました。当日は約200名の職員の参加があり、大変盛会な学術集会となりました。この学術集会は、年2回開催することになっており、学会発表した内容や各部門の取り組みなどを職員間で共有するとともに、学術活動の質向上を図ることを目的としています。演題数は6題とし、診療部、看護部、こころのセンター看護部、医療技術部、在宅部、事務部の6部門から各1題を発表します。

開会挨拶で、堀見忠司院長は、「今回は細木病院と細木ユニティ病院が再統合して初めて開催される学術集会です。他の部署の活動を知ることが一番の目的です。ホットなディスカッションを期待しています」と述べられました。

座長は4名の副院長が務め、優秀演題の選考は6名の部門長が務めました。優秀演題の選考基準は、①タイトル（発表内容を正しく表しているか）、②抄録（発表内容を簡潔に表しているか）、③インパクト（発表内容の新規性、発展性、社会的価値は十分であるか）、④内容（方法・考察は妥当か）、⑤発表態度（表現力、スライドの見やすさ、発表時間、質疑応答は適切か）となっており、6名の総合得点で選考されます。

今回、最優秀演題に選ばれたのは、医療技術部臨床心理室による「発達障害を持つ成人への多面的アプローチ」でした。入院から外来治療への経過を通して多職種による多面的アプローチが有効であった一例が発表されました。また、優秀演題は、在宅部老人デイケアゆうゆうの「通所リハビリテーション事業所における大地震を想定したBCPへの取り組み」で、他の発表も得点が高くて僅差でした。

細木秀美理事長から、「6演題ともとても良かった！」と総評されたうえで、それぞれの発表について、感想、アドバイス、期待などが述べられました。

（医療技術部長　田中照夫）

演題	発表者
蓄積された退院患者データからみえてくるもの ～細木病院の疾病分類傾向を読み解く!!～	事務部 診療情報課　山本淑恵
発達障害を持つ成人への多面的アプローチ	医療技術部 臨床心理室　池田貴美
初めて上部内視鏡検査を受ける患者の看護援助 －鎮静剤未使用の患者に焦点をあてて－	看護部 外来　織田さおり
閉鎖病棟において看護師が抱く 陰性感情とサポート体制の検討	こころのセンター看護部 北5病棟　岡村明寿香
通所リハビリテーション事業所における 大地震を想定したBCPへの取り組み	在宅部 老人デイケアゆうゆう 竹内あさみ
洞不全症候群発症を契機に 診断に至ったリチウム中毒の一例	診療部 初期臨床研修医　篠田知周

細木病院

楽しく食べる、体よろこぶ！「栄養ワンダー」開催

日本栄養士会では、8月4日を栄養の日と定め、8月1日～7日を栄養週間としています。国民へ栄養に対する興味喚起を促し、管理栄養士・栄養士の職能の認知と理解を広げることを目的に、全国で「栄養ワンダー」が開催されています。

今年、細木病院栄養管理室では、さまざまな企画を実施しました。8月6日、こころのセンターの重度認知症患者デイケアデイ・アルテンで「お誕生日会の手作りデザートと栄養紙芝居」を開催。キウイを使った手作りデザートが配られると「きれいなね～」「もっと食べたい」と盛り上がりました。

7日は、高行記念講堂において「栄養ワンダー2019 in HOSOGI」を開催。「生活習慣病リスク度チェック」「朝食の食べ方投票」「栄養力クイズ」「栄養相談コーナー」の4つの参加型イベントブースを設け、117名の参加がありました。

また、老人デイケアゆうゆうでも「栄養の話と手作りおやつで夏を乗り切る！」イベントを開催。元気に見える高齢者でも「低栄養」「便秘」「脱水」など多くの危険性が潜んでいます。特に、夏は食欲が落ちて体調不良になりやすい時季です。そんなときにぜひ食べていただきたいのが『キウイ』。実は、ゴールドキウイ1個のビタミンC含有量は、なんとレモン8個分。グリーンキウイ1個の食物繊維含有量は、バナナ3本分。会場は「今日はキウイのおやつやね」「キウイは食べゆうけど、体にえいとは知らんかった」と盛り上がり、アゲリシャス♪な雰囲気に包まれました。

その他、23日には、こころのセンター外来にて「看護・栄養イベント」を、26日は精神科デイケア・フレンズのプログラムで栄養教室を開催しました。

院内の関係部署において、それぞれの特性を生かした栄養イベントになり、管理栄養士・栄養士がたくさんの元気と笑顔を届けられる「栄養ワンダー」となりました。

（栄養管理室長　橋本由佳）

栄養ワンダー2019 in HOSOGIの様子

デイ・アルテンで
紙芝居を使って栄養の
バランスの大切さを紹介

細木病院は、公益財団法人日本医療機能評価機構の
定める認定基準を達成しています。

細木病院

第17回日本医療マネジメント学会 高知県支部学術集会で発表

8月25日、高知市春野文化ホールピアステージにおいて、第17回日本医療マネジメント学会高知県支部学術集会が開催されました。

今回のテーマは「住みなれた地域でいきる～医療と介護の連携～」で、開会の挨拶では、大会長を務めたJA高知病院院長・都築英雄先生から"これまでの病院での医療完結型でのサービス提供ではなく、地域完結型で地域包括ケアを実践していくための医療・介護連携が重要になる"と述べられました。今回は、全16セッションに88演題の発表があり、細木病院からは6題の演題を発表し、それぞれの取り組みと成果を報告することができました。

静岡英和学院大学短期大学部・重森雅嘉先生の特別講演「ヒューマンエラーの認知科学」では、「自動処理」と「制御処理」について大変有意義なお話を聞くことができました。ランチョンセミナーは、佐渡総合病院院長・佐藤賢治先生の「超高齢社会における社会保障体制に向けて～佐渡島の取り組み～」と、幡多けんみん病院脳神経外科部長・西村裕之先生の「高知あんしんネットのご紹介」の2講座が開催され、情報通信技術（ICT）を活用した新潟県佐渡島での先駆的な取り組みと、これから高知で進めていくICTシステム「高知あんしんネット」の紹介と展望についてお話をいただきました。

今回の学術集会では、当院の日頃の熱心な取り組みを発表する貴重な機会を得たこと、また、今後進んでいくICTを活用した医療情報システムの展望、他の病院のさまざまな個性溢れる取り組みを情報収集できたことで、参加した職員一同、大変有意義な一日となりました。こうして得た情報や知見を、これからの業務に積極的に生かしていきたいと考えています。

（事務部長　宮地耕一郎）

セッション	演題名	発表者
患者サービス	鎮静剤を使用せず初めて上部消化管内視鏡検査を受ける患者の看護援助	看護部 外来　森本清子
災害医療・情報管理	通所リハビリテーション事業所における大地震を想定したBCPへの取り組み	在宅部 老人デイケアゆうゆう 竹内あさみ
教育	臨床経験年数、家庭環境の違いが業務外研鑽に及ぼす影響～ワークライフバランスを考慮した人材育成と管理～	医療技術部 リハビリテーション課 理学療法室　野口耕造
	臨床実習施設での学生教育のこれから～作業療法室 学生教育マニュアルの作成～	医療技術部 リハビリテーション課 作業療法室　藤井由季
病院運営	院外調理品（クックチル）を活用した給食業務の直営化	医療技術部 栄養管理室　岸野睦美
組織運営・その他	骨粗鬆症リエゾンサービスチームの活動と薬剤師の関わり	医療技術部 薬剤室　吉岡りえ

仁生会

第31回 仁生クラブ総会開催

9月7日、毎年恒例の仁生クラブ（仁生会・積善会のOB会）の総会・懇親会が細木病院新館地下高行記念講堂において開催されました。今年は14名のOBが参加され、皆さん明るく元気な姿を見せてくれました。

総会では、日高クリニックの前の看護師長で昨年退職された矢野道恵さんの幹事への就任が承認されました。懇親会では、細木病院グループよさこい踊り子隊が踊りを披露。さらに、会場全員で正調踊りを踊りました。また、OBの皆さんからの先代理事長時代の懐かしく楽しかった思い出話に、例年にも増して盛り上がるなど、皆さん賑やかな時間を過ごされました。

来年は、9月9日の開催が決まっています。できるだけ多くのOBの皆さんのご参加をお待ちしています。

三愛病院

第3回地域健康セミナー開催「大震災に向けての取り組み」

9月7日、令和元年度初の防災週間に合わせ、3回目となる地域健康セミナーが開催されました。

今回は、近い将来やって来る大震災に焦点をあて、深田順一院長が「大震災に向けての三愛病院の取り組み」と題して第1部の講演を行いました。高知県が公開している震災の被害予測で周辺地域の状況を確認したあと、三愛病院の業務継続計画（BCP）の中から被害予測を紹介しました。三愛病院は耐震工事が完了しており、倒壊等の大きな建物被害はないと想定していますが、発災の時間帯や時期によっては、職員や水等の物資不足が予測されます。地域の方で可能な方には、水の提供やボランティアとして病院運営にご協力いただけるようお願いしました。参加者からは、発災時に近隣の医療機関同士で連携するシステムを望む声もあり、災害時医療に関する関心の高さと医療混乱に対する不安がうかがえました。

第2部は、簡単なポリ袋クッキングで1人分ずつ袋に入れて湯煎するカレーライス作りを実演し、参加者全員で試食しました。ポリ袋に入れた材料を湯煎するのみでおいしいカレーライスができあがります。キャンプや少量のカレー作りにも最適です。いざという時、知っているとお得で、ひと手間をかけることにより満足感の高い食事をいただくことができます。災害時「食べること」の大切さを想像しながら味わい、参加の皆さんも大満足でした。

防災クイズでは、災害時に必要な知識をクイズ形式で出題。外出中に地震が起きた場合、避難場所としてガソリンスタンドが丈夫な構造で安全ということに納得し、「近所の人たちにも伝えたい情報がいっぱい」と好評でした。クイズは正答数に応じて災害備品の景品があり、楽しく学んでいただけたようです。災害時の応急手当では、身近な物を使って誰にでも簡単にできる処置法を学びました。

いずれ必ず来る大震災に備え、これからも地域に密着した医療機関として情報発信を行っていきたいと思います。

（第3回セミナー委員　元吉ひとみ）

在宅ネットワーク通信

三愛病院グループ「ナツボラ2019」に参加！

夏休みを利用して、広く学生や一般の皆さんにボランティア体験をしてもらおうと高知県社会福祉協議会等が企画している「ナツボラ2019」に、今年も三愛病院グループが受け入れ先として参加。多くの出会いがありました。

グループホームいろは丸では、8月19日、入居者さんとリニューアルした農協特産センター「とさのさと」へ、ボランティアの女子高生3名と一緒に、おいしいもの探しに出かけました。店内は広くどこから回ってよいのやら…。「おいしそうなスイカを見てきて」とのミッションを受け発見したスイカの大きいこと！お寿司や野菜などおいしいものをたくさん発見し、無事に任務完了です。

（森岡明美）

デイサービスいろはでは、8月21日と22日に、夏祭りを開催。準備から片付けまで、一緒に楽しんでくれる方を募集し、両日共に各4名の学生が参加してくれました。「よさこい鳴子踊り体操」では、若い対応力で鳴子を持ってしっかり盛り上げてくれました。また、輪投げや輪ゴム鉄砲射的、ストラックアウト、たこ焼きやスイカ割りなど、みんなで夏祭りを満喫しました。

（竹口伸也）

まっことネット細木 《11月の予定》

高知市上町5丁目4-1ピュアリフレビル1階
☎090-7788-1305
月～金（祝日休み）午前9時～午後4時

♠介護相談（相談無料）
月～金（祝日休み）午前9時～午後4時
♣まっこと講座「コットンボール作り」
13日（水）、27日（水）午後3時～3時30分
♣防災教室「シェイクアウト」
29日（金）午後3時～3時30分
♣マインドフルネス
19日（火）午後3時～3時30分
♣生け花教室
1日（金）午後3時～3時30分
♣生きがい交流広場
16日（土）午後12時～1時
◆子育て広場「つみき」
5日（火）午前10時～12時
◆いきいき百歳体操
毎週月と木（祝日休み）午前10時～11時
♥参加費は無料です♥詳しくはホームページでご確認を♥

「まっこと出前講座」のホームページはこちら

細木病院在宅部は、高知県南海トラフ地震対策優良取組事業所の5つ星認定（最高評価）を受けています。

細木病院在宅部のブログ
https://ameblo.jp/hosogibyouinzaitakubu/

細木病院こころのセンター
精神科デイケア・フレンズ通信
ハロー★フレンズ

フレンズ防災王決定戦 ＆本気の避難訓練

来る南海トラフ大地震に備え、デイケアフレンズでは、利用者さんと防災意識を高める取り組みを行っており、今年で3年目になります。デイケア活動中に地震が発生し被災した想定で、どんなことが起こるか、どのように動いたらよいかなど、講義をして知識を深め、みんなで話し合って考えてきました。これまで、実際に近くの避難場所まで歩いて行ってみたり、簡易トイレを作ってみたり、県の出前講座で被害の想定や対策などの話を聞いたりしました。

今年度は、地震が起きたときの被害や行動について、クイズ『防災王決定戦』を開催しました。優勝者は豪華景品がもらえる！ということもあってか、皆さんとても真剣に考え、全体の正解率はとても高く、利用者さんの防災意識が高まっていると感じられました。

また、地震発生時刻やその時の状況などを細かく設定して行う、第2回『本気の避難訓練』も実施しました。先般、当院でも行われたシェイクアウト訓練の「まず低く、頭を守り、動かない」ことを第一に、揺れがおさまったらどこへ逃げるか、スタッフもその時どう動いて利用者さんの安全を確保するのかを想定し、実際に緊急地震速報を鳴らして避難訓練を行いました。シェイクアウトの体勢はだいぶ浸透してきた印象がありますが、「ここの壁や階段は地震でくずれているかも」「もっとこうした方がいいかも」など、やってみるとまだまだ想定すべきことや改善点があり、繰り返し訓練を実施していくことが大事だと感じました。

（認定心理士　黒岩恵子）

『防災王』の景品は、非常用持ち出しグッズ！皆さん、備えはできていますか？

こころのセンター コンサートのご案内

細木病院では、月1回ほど、**北館S棟6階ホール**において、こころのセンターコンサートを開催しています。**無料ですので、一般の方もお気軽にお越しください。**

＊駐車場はありません。公共の交通機関をご利用ください。

第419回◇秋のジャズ・フルート・コンサート

11月15日（金）午後2時～
出演：小島のり子ジャズ・フルート・トリオ
小島のり子（フルート）
天野丘（ギター）
落合康介（ベース）

ジャズや日本の名曲を中心に心温まる演奏をお届けします。

細木病院・三愛病院 インフルエンザワクチン接種のお知らせ（外来患者様）

インフルエンザの予防接種は、ご本人が希望されている場合にのみ行うものです。

※事前予約は行っておりませんので、来院時にお申し出ください。
ただし、13歳未満の小児の場合は、小児科にて予約をお願いします。

接種期間：令和元年10月1日～令和2年1月31日

対　象　者	接種回数	接種費用
(1)65歳以上の方 (2)60歳から64歳で、心臓・腎臓・呼吸器・ヒト免疫不全ウイルスで身体障害者手帳1級を持っている方、またはそれに相当する障害の程度の方（身体障害者手帳をお持ちの方はご持参ください。）	1回	1,100円 （公費負担あり） ※期間:令和元年10月1日～令和元年12月31日
(3)13歳以上64歳以下の方	1回	3,500円（税込）
(4)13歳未満の小児	2回	7,000円（2回分税込）

＊自己負担金免除制度があります。詳しくは、市町村までお問い合わせください。

＊予防接種で100%感染を防ぐことはできません。手洗い、うがい、睡眠をとるなど日頃より感染予防対策を心掛けることが大切です。

※予防接種を希望された方で、診察後接種ができなかった場合は、下記の料金をいただくことになりますので、ご了承ください。

診察の結果、接種不適合で実施できなかった場合 （ただし、問診票記入時点にて発熱等で接種不能時、または65歳以上の公費対象の方は除く。）	800円（税込）

日高クリニック

〒781-2153 高岡郡日高村本郷滝ノ前7 ☎0889-24-7785㈹
院長 松本和博（日本小児科学会小児科専門医）
日高クリニックのホームページ
https://hidakaclinic.jinseikai.kochi.jp/

診療科	小児科・内科						整形外科
曜	月	火	水	木	金	土	土
午前	松本	松本	休診	松本	松本	松本	北岡（隔週）
午後	松本	松本	休診	松本	松本	松本	—

コスモス便り

認知症予防「あったかカフェ」開催！

9月13日、グループホームひだかの里において、恒例の認知症予防「あったかカフェ」が開催されました。今回は、佐川町オカリナクラブのメンバー7名をお招きして、グループホームの入所者やその家族、デイサービス利用者、ボランティアや地域の方々の総勢36名が、オカリナの演奏を楽しみました。「里の秋」「リンゴの唄」など10曲程度が演奏され、オカリナの澄んだ音色と音量の迫力で大変盛り上がり、参加者は、懐かしい曲の演奏に自然と歌を口ずさんでいました。「オカリナは初めて聞いたけど、きれいな音がする」「生で聞くと迫力がある」と大好評。また、メンバーのお揃いのワンピースもとてもよくお似合いでした。オカリナ演奏の後のカフェタイムでは、おいしい日高のブドウとコーヒーで、和気あいあいと会話も弾みました。

「あったかカフェ」は2か月に1度、奇数月の第2金曜日にひだかの里で開催しています。演奏会等のイベントを開催したり、歌や体操、作業などで参加者の交流を図り、居心地の良い空間づくりを行っています。認知症の人やその家族、地域の方々が集い、お互いを理解し合う場となっています。また、介護や認知症のことを専門家にご相談いただけます。どなたでもお気軽にご参加いただけます。お問い合わせは、☎0889-24-5802まで。お待ちしています。

（ひだかの里管理者　森下小百合）

ご存じですか!?　ソーシャルワーカーからのミニ情報

介護医療院について

介護医療院は、介護療養型医療施設（全面廃止までは6年間の猶予）に代わり、要介護者に対し長期療養のための医療と日常生活に必要な介護を一体的に提供する施設です。介護医療院には2つのタイプがあり、1つは重篤な疾患のある方や身体合併症のある認知症高齢者を対象とするもの。もう1つは比較的安定した容体の高齢者を対象とするものです。それぞれに職員の配置基準があり、医師や薬剤師、介護福祉士等の配置が違います。また、利用料金は、食費や居住費の他、施設サービス費用（要介護度や施設形態などで異なります）の1割～3割の自己負担が必要です。具体的な費用は、施設によって異なる部分があるため、各施設に直接お問い合わせください。

三愛病院でも、来春には、介護医療院の設置に向け取り組んでいます。詳しくは、当院医療相談室までお問い合わせください。

（三愛病院医療相談室　山本明公子）

じんせい令和元年10月号（No.394）

外来担当医表

令和元（2019）年11月予定

細木病院

仁生会 細木病院グループ

★内科初診時は、基本的に専門の内科ではなく、総合診療科または一般内科での診察となります。

第二次救急医療施設（救急告示病院）

〒780-8535
高知市大膳町37
☎822-7211(代)

予約電話
873-3806
ただし、小児科は
820-6780

【健康管理センター】
予約電話
822-7264

（　）のドクターは兼務です。

診療科		月 午前	月 午後	火 午前	火 午後	水 午前	水 午後	木 午前	木 午後	金 午前	金 午後	土 午前
総合診療科		深田 上田	品原			深田		上田		丸山	熊谷	
一般内科		篠原 猪狩	細木秀 弘瀬 丸山	松田勇 品原	篠原	古賀	高知大 菅沼教授 猪狩 髙橋	高橋 弘瀬	松田 猪狩 古賀	松田	弘瀬 篠原・古賀（交代）	担当医（2名）
専門内科 呼吸器内科			小林（せき外来）	小林			小林（せき外来）（第2・4週）～15:30 新患のみ			小林	中山	
専門内科 消化器内科				中内		上田			中内	中内		
専門内科 循環器内科		古川 高知大 瀬尾教授	古川	細木信	宮地	細木信	古川 中嶋	松村	細木信	宮地	宮地	
専門内科 糖尿病・内分泌内科			西岡	丸山	熊谷 田口（甲状腺外来）	品原 篠原	丸山	西岡（甲状腺外来）		西山（甲状腺外来）		
専門内科 糖尿病センター		熊谷			西岡	西岡 中村						
専門内科 腎臓内科					（西岡）					高知大 寺田教授		
小児科（予防接種は完全予約制）	1診	堂野	新井	新井	新井	新井	堂野	中岡	新井	堂野	堂野 ～17:30	新井・堂野
小児科	2診	細川・中岡（交代）	堂野	齊藤	堂野	高知大医師	高知大医師 ～17:30	細川	中岡	細川	細川 ～17:30	小児科は土曜日午後も診察あり
小児科	3診		中岡（午前診療の場合）	竹内	竹内 ～15:00	中岡	中岡 予防接種	竹内	竹内 ～15:00	竹内	竹内 ～15:00	新井・堂野 13:00～15:00
小児科 神経小児科（予約制）			細川						細川			細川（午後のみ）13:00～15:00
小児科 小児こころの外来（完全予約制）				中岡	中岡					島崎	島崎・中岡	
外科		上地	尾崎（乳腺・甲状腺）	尾崎		上地	上地・西村	尾崎	担当医	上地		尾崎
血管外科		西村				西村						
緩和ケア科（完全予約制）				安藤	安藤			安藤	安藤	安藤	安藤	
痛み外来（ペインクリニック）				細川滋				細川滋（第1・3・5週）		細川滋		
整形外科（午後の診察と土曜日は手術等により変更や休診になる場合あり）	1診	北岡	担当医	山川	北岡	山川	担当医	北岡	高知大 池内教授 予約のみ	北岡	北岡 ～15:00	高知大 喜安
整形外科	2診	山川	高知大 武政	寺西	高知大 泉	寺西		寺西	担当医	山中		寺西
整形外科 小児整形外科											山川	
脳疾患センター（脳神経外科）		栗坂	（手術）	栗坂		高知大 上羽教授		栗坂	栗坂	栗坂	栗坂	栗坂
耳鼻咽喉科		楯	楯	楯	（手術）	楯	楯	楯	楯	楯		楯
皮膚科・形成外科		野田	野田（手術）～15:30			野田				野田		野田（第3週）
泌尿器科				蘆田	蘆田			山本	山本			高知大医師
放射線科		耕崎志	耕崎志	高知大 南口 9:00～12:00	高知大 梶原 13:30～16:30	耕崎志	耕崎志	耕崎志	高知大 吉松	耕崎志	耕崎志	
セカンドオピニオン外来（完全予約制）			（細木秀）13:00～15:00									（栗坂）
内視鏡センター		中内 髙橋 古賀	中内 髙橋	髙橋 上田	中内 上田 髙橋	耕崎拓 髙橋	中内 古賀	中内 廣瀬 古賀	髙橋 上田	弘瀬 髙橋	中内 古賀	
健康管理センター（健診・人間ドック）		森下	松田勇	森下		森下	森下・弘瀬	森下	森下・弘瀬	森下		
健康管理センター 乳がん		尾崎		上地				上地			尾崎	
健康管理センター 子宮がん				濱脇								
こころのセンター 精神科心療内科	再診	吉岡	徳岡	橋田 10:00～	徳岡	吉岡	岡村	徳岡	橋田	永野	高知大 北代（第1・3週）	吉岡（第1・3週）
こころのセンター 精神科心療内科	再診		永野	岡村 10:00～				岡村			高知大 須賀（第2・4・5週）	橋田（第1・3週）
こころのセンター 精神科心療内科	新患	徳岡		永野	岡村	岡村		吉岡（もの忘れ外来）	徳岡	吉岡	永野	
こころのセンター 内科						松田幸			岡村（漢方外来）（第2・4週）14:00～15:30			

こころのセンター

★初診の方は予約制です。（9:00以降に外来まで、お電話でご予約ください。）

☎802-3366(代)

三愛病院

★小児科の受付は、月・水・木・金は午後5時30分までです。（火曜日は午後5時で受付終了）

<訪問診療>
土曜日
9:00～14:00
担当医：大河原（おおかわら）

〒781-8136
高知市一宮西町1-7-25
☎845-5291(代)

診療科		月 午前	月 午後	火 午前	火 午後	水 午前	水 午後	木 午前	木 午後	金 午前	金 午後	土 午前
総合診療科・外科		武市	武市 14:30～			武市	武市 14:30～		武市 14:30～	武市	武市 14:30～	武市
内科	1診	担当医	小野寺	担当医	細木秀（肥満外来）	坂本	中川	中川	高知大 古味	中村	高知大 小笠原真	坂本
内科	2診	上村（うえむら）	中村	高知大 橿尾	担当医	高知大 小笠原史（禁煙外来）	上村（うえむら）～16:30	深田 小野寺		高知大 水田（禁煙外来）		高知大 担当医・石崎教授（交代）
内視鏡				小野寺		小野寺		山崎				
循環器科（予約制）												高知大（第2週）渡橋（おりはし）教授
整形外科（月・火・土は予約制）		高知大 南場 9:30～12:00		高知大 和田 9:30～12:00		森田		森田		森田		高知大 泉 9:30～12:00
小児科		橋詰		高知大 浦木・森下（交代）		橋詰		橋詰		橋詰		橋詰
耳鼻咽喉科		市川		市川		市川	市川（第2・4・5週）	市川		市川	高知大 青井	高知大 市川・梶山（交代）・葛目
皮膚科（予約制）												高知県立大（隔週）池田教授
形成外科（床ずれ・美容）（予約制）		三好 9:15～11:30		三好 9:15～11:30		三好 9:15～11:30				三好 9:15～11:30		
泌尿器科					山本					山本		
レディス外来					相良（さがら）							
もの忘れ・不眠外来（予約制）										上村（かみむら）（もの忘れ外来）	須賀（第1・3週）15:30～17:00（不眠外来）	須賀（第2・4週）9:00～12:00（不眠外来）
放射線科		岩井		岩井		岩井		岩井		岩井		岩井
健診室		担当医		担当医		担当医		担当医		担当医		

発行人 細木秀美
発行所 高知市大膳町37 ☎(088)822-7211
印刷 株式会社高知新聞総合印刷